

GTFS・バスデータ整備実習

日時 令和4年 8月31日(水) 10:00~17:00

開場・受付開始 9:30~

場所 ちよだプラットフォームスクウェア
4階401会議室 東京都千代田区神田錦町3-21

交通

東京メトロ・都営地下鉄 竹橋駅 徒歩5分
神保町駅・小川町駅・大手町駅 徒歩8分費用 第1部+第2部 30,000円
(第1部のみ 15,000円)

対象

市町村の公共交通、コミュニティバス担当者
10路線程度の小規模バス事業者のダイヤ担当者

標準的なバス情報フォーマット・GTFSとは？

バス事業者と経路検索等の情報利用者との
情報の受け渡しのための共通フォーマットです。

- ・路線/時刻表/運賃等の静的情報「GTFS-JP」
- ・バスロケ等の動的情報「GTFSリアルタイム」

2017年3月に国土交通省にて制定後、全国で
529事業者がオープンデータとして公開しています。

実習の趣旨

コミュニティバスを運行する市町村や10路線程度の小
規模バス事業者の方が、自ら標準的なバス情報フォー
マット・GTFSデータを作成・更新できるよう、データ
作成ツールの使用方法を学びます。P Cをご持参いただく実習形式で行い、ツールの開発者
が説明します。実習時にはアシスタントがツール操作の
サポートを行います。また、データの整備・公開等に関
するご相談をお受けします。

こんなことが出来ます！（裏面参照）

検索

- ✓ 経路検索サービスやGoogleでの検索が可能に
- ✓ データの自作によりダイヤ改正情報を迅速に提供

情報
提供

- ✓ デジタルサイネージで様々な場面で情報提供可能に
- ✓ グーグルマイマップでH Pに路線図表示

発展

- ✓ 交通計画やまちづくりでのバスサービスの可視化
- ✓ MaaSなどの新たな交通サービスの基礎データ

1つのデータを多様に活用可能（ワンソース・マルチユース）

次第

講演者・講師

内容(調整中)

第1部 標準的なバス情報フォーマット・GTFSの意義と利活用 10:00~11:30

GTFSの意義

東京大学 伊藤昌毅氏

フォーマットの概要、活用方法・効果、MaaSへの発展

GTFS整備事例

合同会社MoDip 諸星賢治氏

県事業等によるGTFS整備、バス事業者・市町村による独自整備

GTFS作成ツール紹介

地域・交通データ研究所 西澤明氏

無償のエクセルツール（見える化共通入力フォーマット、標準的なバ
ス情報フォーマット作成ツール、経路形状作成ツール）紹介

第2部 無償ツール（見える化共通入力フォーマット）実習会 13:00~17:00

ツール利用実習会

公共交通利用促進ネットワーク
伊藤浩之氏（ツール作者）

- ・実際にツールを使用してデータを作成する実習
- ・データチェック・更新の方法の説明
- ・エクセルがインストールされたWindows PCを持参してください

相談会

実際にデータ整備やGoogle Maps掲載の実績がある協会のメンバー
と個別相談

●お申し込み方法● 【8月10日(水)締切・先着30名】

【推奨】左記QRコード又は【<https://bit.ly/gtfs2022>】のフォームからお申込みください。

【上記にアクセスできない場合】Eメールに必要事項を記入し、下記お問い合わせ先へご送付ください。

必要事項：①氏名 ②所属 ③部署名・役職 ④1部+2部参加 or 1部のみ参加 ⑤参加費支払い方法（当日現金 or
請求書払い） ⑥領収書宛名 ⑦請求書送付先（請求書払いの場合） ⑧連絡先メールアドレス主催：一般社団法人日本バス情報協会 (<https://busdata.or.jp>)

お問い合わせ：office@busdata.or.jp

GTFS-JP
General Transit Feed Specification Japan

2022-7-2

Googleマイマップによる路線図

